臺灣日日新報 第一万五千三百六十六號 (一)

臺灣昌新報

本日四頁

畏し天皇陸下親しく伊勢の神宮に御參拜

戰勝御奉告神恩奉謝の御儀

【東京發同盟】宮内省告示第二十九號

天皇陸下には去る十二日親しく伊勢の神宮に御拜あらせられたが十三日御發輦京都府下並午後五時告示をもつて次の如く宮内省より發表された

昭和十七年十二月十三日

宮内大臣 松平恒雄

【東京發同盟】畏くも天皇陸下には親しく伊勢の大御前に參進あらせられたが十二月十二日御告文を奉讀あらせられ次いで十二日御親拜あらせられた、ここに於て御發輦あらせられ十三日午後京都府下並に滋賀縣下に行幸あらせられたり

【東京發同盟】畏くも天皇陸下には去る十二日親しく伊勢の神宮に御參拜あらせられたが十三日御發輦京都府下並に滋賀縣下に行幸あらせられたり

【東京發同盟】畏くも天皇陸下には親しく御告文を奉讀あらせられ次いで十二日御親拜あらせられたが、ここに於て御發輦あらせられ十三日午後

貯蓄報國無駄飯切り

目標達成を目掛け "今十二月"こそ總努力の月

戰時貯蓄動員本部幹事長　大澤貞吉

この十二月一箇月間に、全國で五十億圓の國民貯蓄をしようという國民貯蓄增强運動が行はれつゝある、五十億圓なんて……とびつくりする人があるかも知れぬが、本年四月からもう八箇月その半年間に國民貯蓄目標額二百二十億圓中、百六十億圓しか貯蓄できなかつた以上、この十二月中に五十億圓くらゐ殖やさなければ、とても百二十億圓の目標額には到底達しないことになつてゐる譯である、五十億圓といふ數字は決して不可能な數字ではないが、しかし十二月は決算期でもあり、官公吏の賞與金も支給されるので、國民貯蓄の增强運動としては最も困難な月である、從つて政府當局としても、この十二月を以て國民貯蓄目標額二百二十億圓を突破するか否かに、大東亞戰爭の勝敗がかゝつてゐるといふ重大な決意を以て、この月を國民貯蓄の總動員月間と定め、國民各位に對し、この月こそ總努力の月として、最後の一滴の血までも絞り出すといふ意氣込みを以て、貯蓄報國の實を擧げられんことを切望する次第である

×　×　×

國民貯蓄の目標額は、本年度は全國の三億圓七百萬圓、本年四月から十二月までの九箇月間に三億圓を突破する豫定であつたが、實際の貯蓄額は三億五千萬圓なので、目標額は一億圓も超過することになつてゐるが、本年四月以降十月までに一億圓くらゐは前年度に繰越すべき額が殘つてゐるから、この分だけは差引かなければならない、殊に昨年が殘額ゼロ、すつと五千萬圓ばかり不足したので本年その不足額を取り戻さなければならぬ譯である

×　×　×

國民貯蓄の目標額は、本年度は全國の三億圓七百萬圓、本年度は全國の目標額を三億五千萬圓なので、目標額は一億圓も超過することになつてゐるが、しかし

米、空母建造に躍起

太平洋、對日反撃に汲々

今夏 以來著しく擴充

昨日の衆院は 現地人の認識薄弱

南進據點臺灣に就て 現地人の認識薄弱 マライ現地狀況を語る

昂まる軍事援護の波

獻金總額既に八千餘萬圓

南方建設座談會 比島篇（上）

日增しに日本を信賴 躬を以ての指導が肝要

何事も實行が第一

長谷川總督歸臺の途大阪で語る

開戰記念講演會

あす 島都で激戰を偲ぶ會

大空から潛水艦狩り

海鷲の一撃に脆くも撃沈

半減の一助 毎日3回 健歯を創る 磨歯

日増しに日本を信賴 躬を以ての指導が肝要

昂まる軍事援護の波

獻金總額既に八千餘萬圓

大空から潛水艦狩り

海鷲の一撃に脆くも撃沈

半減の一助 毎日3回 健歯を創る 磨歯

女性部隊乘り出す
國語常用推進の尖兵に
始政五十周年記念の實踐行事

【新竹特電十四日發】新竹州では始政五十周年を記念して國語常用運動を一層強化するため、州下各地に國語講習所を設置し、婦人の方に國語を學んで頂く外、國語講習所を出た婦人の方に國語を實際に使用して頂くやうにするため、婦人國語會を組織することに決定、目下その具體的方策を樹立中であるが、一日も早く實現するやう關係當局では努力を拂つてゐる

【新竹特電十四日發】新竹州では國語常用運動の一環として、州下各地に國語講習所を設置し、婦人の方に國語を學んで頂く外、國語講習所を出た婦人の方に國語を實際に使用して頂くやうにするため、婦人國語會を組織することに決定、目下その具體的方策を樹立中であるが、一日も早く實現するやう關係當局では努力を拂つてゐる

【臺南電話】南瀛佛教會では、本島佛教の振興を圖るため、十五日午後二時から市内開山寺で、各地代表者の參集を求め、佛教講習會を開催することになつた、講師は、總督府から木村宗務課長、臺北帝大から宇井教授、臺北佛教會から林德林氏、臺南州から小野社會課長、臺南市から小林市尹、臺南